

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	防火衣更新整備事業	所管	消防本部 警防課
			TEL 2929-9122

事業の目的 (何の為に 行うか)	多種多様な災害現場において、安全性が高く、フレキシブルに対応できる機能性を有したセパレート型の防火衣を全職員を対象に更新整備を図ることを目的とする。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	消防職員(342名)	対象とした数	333	着
		実際に 利用した数	87	着

活動の内容	(何を したか)	<p><具体的な内容> 全職員(342名)を対象とし、4年計画で更新整備を図る。 更新計画:1年目87名、2年目87名、3年目96名、4年目72名 計342名</p> <p><実施方法> 1 年度始めに更新対象者を抽出する。 2 仕様を決定し、業者を選定する。 3 更新対象者に対し、採寸を実施する。</p>								
	活動実績	項目名	更新整備計画数	87	項目名		項目名		項目名	
			-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----
			単位	着	単位		単位		単位	

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	13,702	13,650	18,347	54.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	更新整備数	更新整備数/更新整備計画数	87	87	100.0
			-----	-----	-----
			単位	着	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 改善・効率化 * 改善余地なし その他 []								
		終了 ⇒ 事業完了		終了		休止				
	予算	現状どおり		* 増額		減額		終了		

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了									
	総合 評価	拡充 縮小 統合		改善・効率化 * 改善余地なし		その他 []			終了	
	予算	現状どおり		* 増額		減額		終了		

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	100300	TEL	2929-9122
事業コード	100302		防火衣更新整備事業			
開始年度 平成 19 年度 ー 終了年度 平成 22 年度			消防本部 警防課	グループ 安全な街づくり		

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市総合計画			消防組織法			
	関連・類似事業	個人装備整備事業						
総合計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち	施策	1節 消防・救急	中柱	1 消防力の充実	小柱	(3) 消防車両・装備の充実・強化

③事業の内容	行政改革大綱における行動計画への位置づけ		H19 A H20 O	
	コード	2121	コード	3261
	事業開始の背景		昭和61年に現在のオーバー型防火衣に更新して以来、20年間更新整備を実施していないことから、防火衣に必要な耐熱性等が著しく低下しているものが数多く見受けられる。さらには、オーバー型の防火衣に比べて下半身部分の安全性に優れているセパレート型防火衣に更新することで、多種多様な災害現場においてフレキシブルに対応することができることから、本事業を実施することとしたものである。	

④前年評価と改善点	目的(何のために行うか、具体的に)		多様な災害現場において、安全性が高く、フレキシブルに対応できる機能性を有したセパレート型の防火衣を全職員を対象に更新整備を図ることを目的とする。	
	対象(誰を、何を対象としているのか)		利用数の考え方	
	対象数	単位	平成 18 年度	着
更新計画	1年目87名、2年目87名、3年目96名、4年目72名 計342名	更新整備した防火衣数	平成 18 年度	着
事業の具体的な内容及び実施方法	<具体的な内容> 全職員(342名)を対象とし、4年計画で更新整備を図る。 更新計画:1年目87名、2年目87名、3年目96名、4年目72名 計342名 <実施方法> 1 年度始めに更新対象者を抽出する。 2 仕様を決定し、業者を選定する。 3 更新対象者に対し、採寸を実施する。			

平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
総合評価	<input type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)	
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	
平成19年度中に改善した点		

⑤経費	≪会計種別≫	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算			13,702	15,073
	決算(見込み含む)			13,650	
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費	人	0	0.50 人	4,697
	公債費				
	事業費合計		0	18,347	
	財源内訳	一般財源	0	18,347	15,073
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
	市民一人当たり(単位:円)		0.0	54.1	
	利用者一単位あたり(単位:円)	***		210,885.1	

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	更新整備計画数	更新整備数	単位	着	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績						87	87	342
	成果分析	更新整備数	更新整備数/更新整備計画数	着	目標値	87	87	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	1
				%	達成率	100.0			

⑦一次評価	評価項目	現状評価	事業の対象を見直す必要性	評価項目	現状評価	現在の実施主体	見直しの必要性
	対象設定	<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		
	他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	複数年度の整備計画であるため、計画期間中は、新型防火衣と旧型が混在するため、現場活動における部隊統制、安全管理等が課題である。						
今期目標項目(何を)	セパレート型防火衣等一式	達成水準(どこまで)	東消防署管内の消防隊	時期(いつまで)	平成20年8月末		
平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ()) <input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)						
総合評価	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
評価理由	平成19年度から4年計画で実施中の本事業は、複雑多様化、大規模化する災害現場において、隊員の安全確保とより効果的な消防活動を担わせるため重要な事業であり、21年度は救助隊等を対象として継続して実施するものである。予算については部隊ごとの計画数が前年度に比較して増加するため、増額を予定している。						
評価日	平成20年5月12日	記入者職氏名	警防課長 荻野 透				

⑧二次評価	事前評価	部内優先順位... 5 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価理由	近隣の状況と比較しても、最新の防火衣に更新し、隊員の安全性を高めることは必要かつ重要であり、事業予定に応じて「改善余地なし」「増額」とする。							
評価日	9月1日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し	計画コード	
	◎個別計画			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し	計画コード	
基本目標				
主要課題				
施策の方向				